

中国

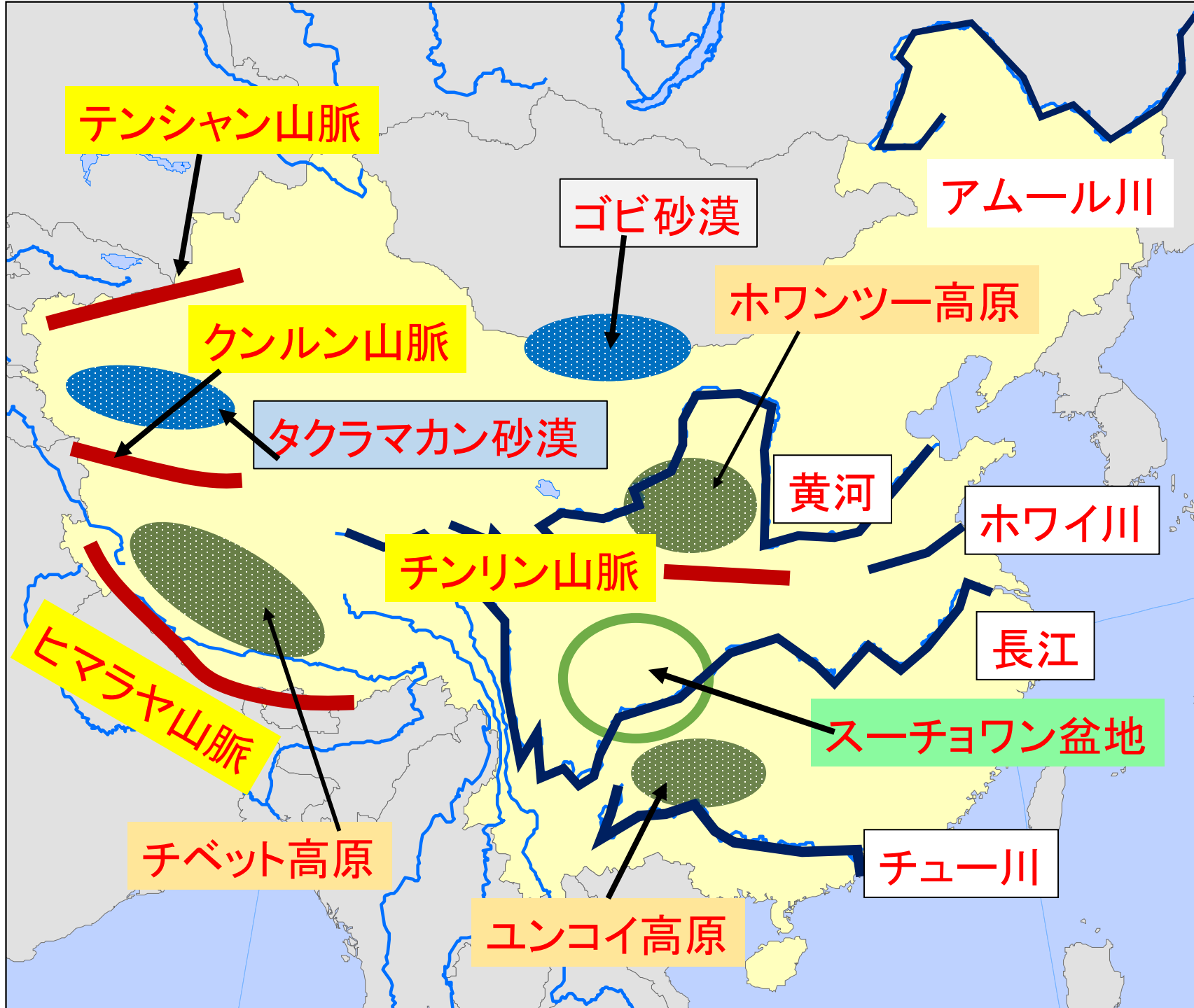
中华人民共和国万岁

世界人民大团结万岁





1 主な地形を確認しよう



テンシヤン山脈

アムール川

ゴビ砂漠

ホワンツー高原

クンルン山脈

タクラマカン砂漠

黄河

ホワイ川

チンリン山脈

長江

ヒマラヤ山脈

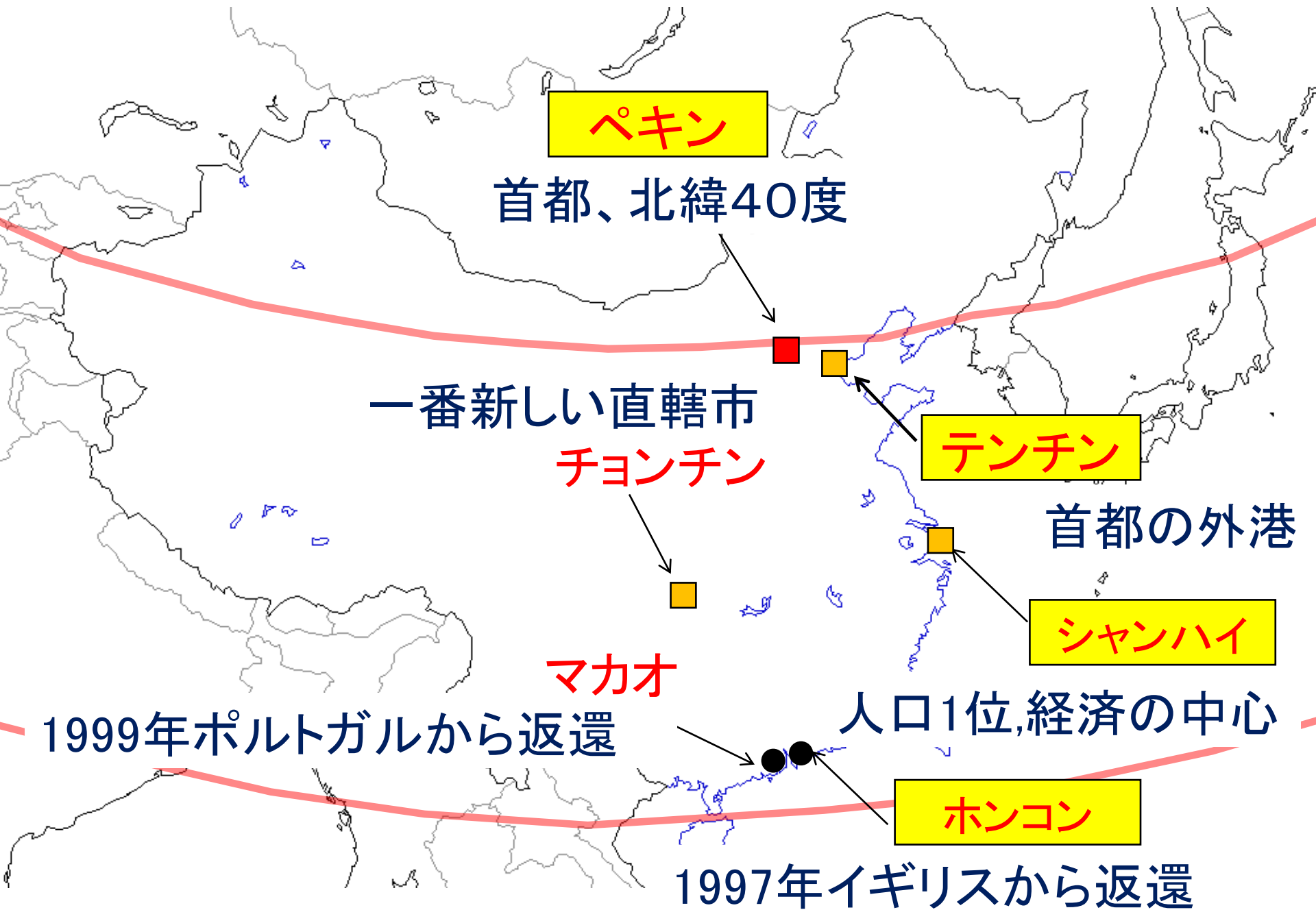
スーチョワン盆地

チベット高原

チュー川

ユンコイ高原

1 主な都市



ペキン

首都、北緯40度

一番新しい直轄市
チョンチン

テンチン

首都の外港

シャンハイ

マカオ

1999年ポルトガルから返還

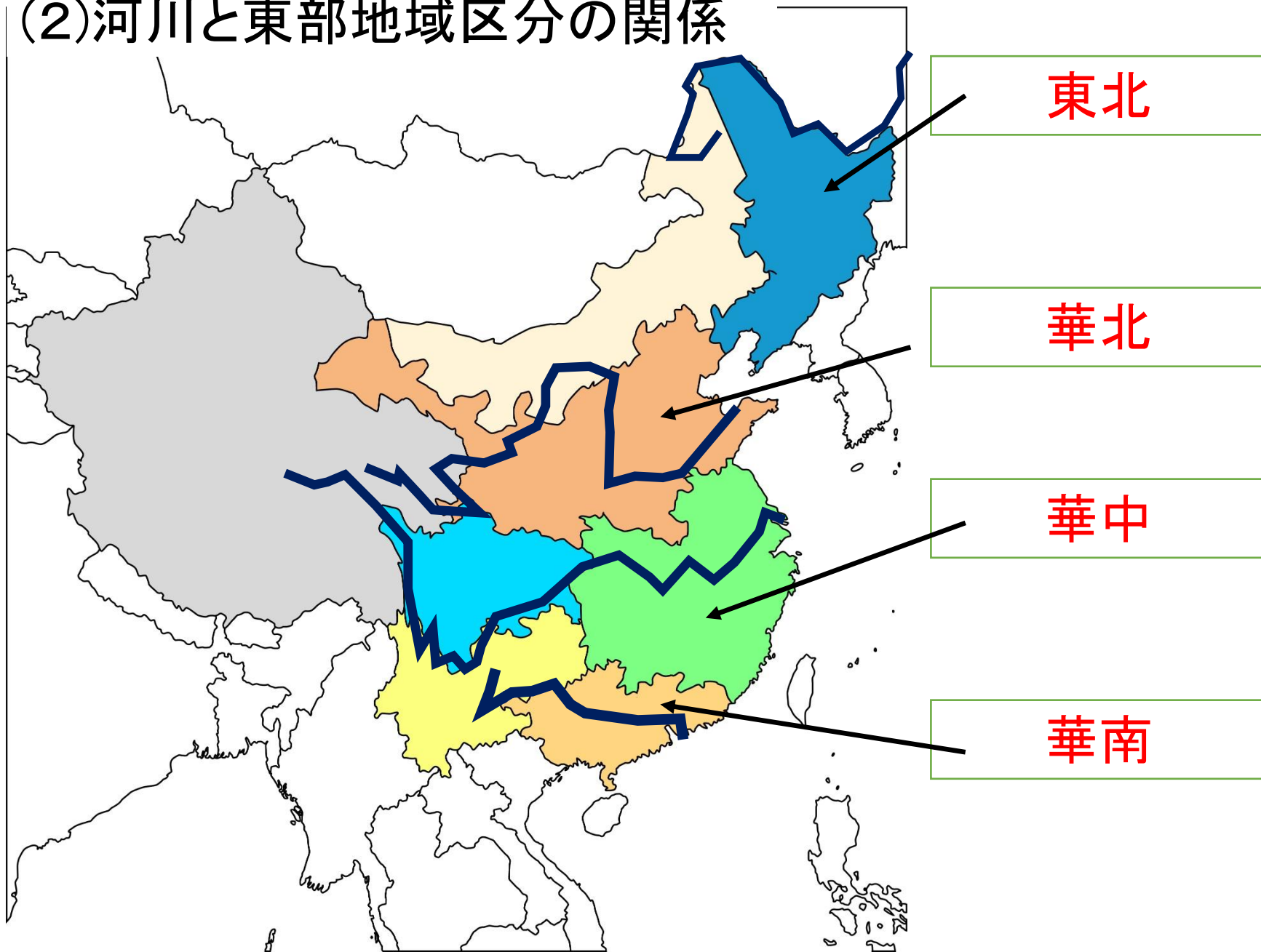
人口1位, 経済の中心

ホンコン

1997年イギリスから返還

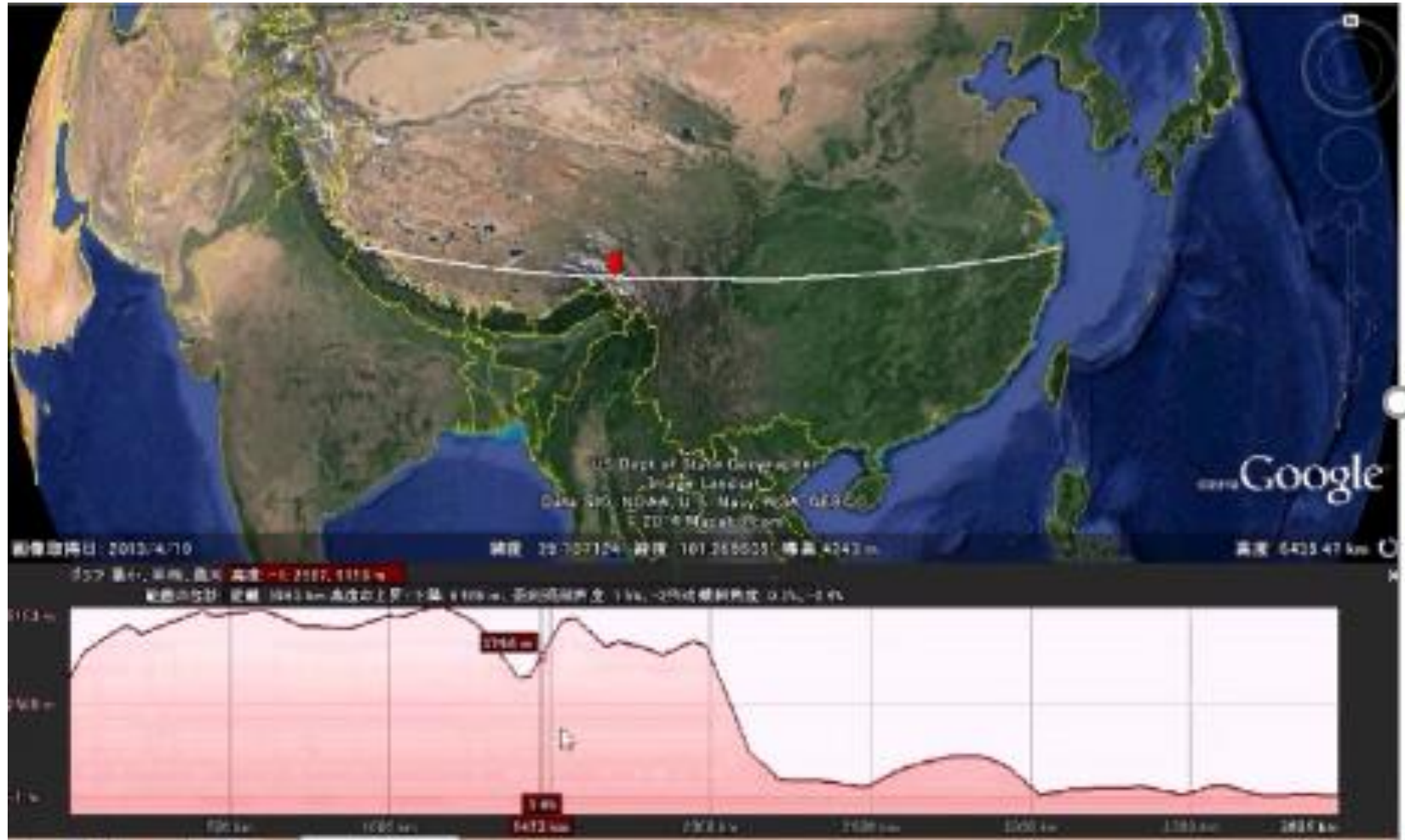
3 地形

(2)河川と東部地域区分の関係



(3)中国の地形起伏の特徴

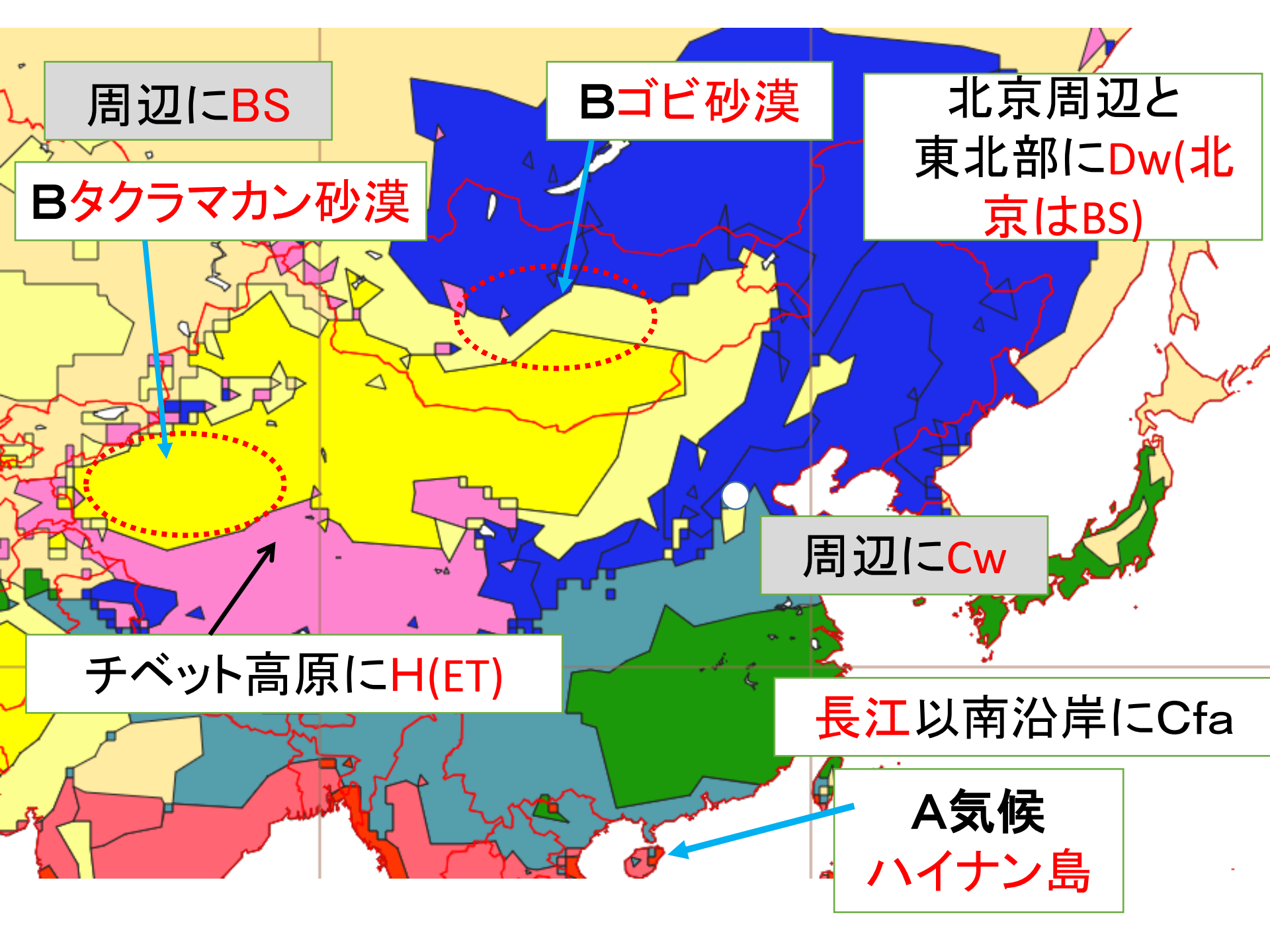
西高東低



4 気候

(1) ケッペンの気候区分の特色

A～Eまでがすべてそろっている



周辺にBS

Bゴビ砂漠

北京周辺と
東北部にDw(北
京はBS)

Bタクラマカン砂漠

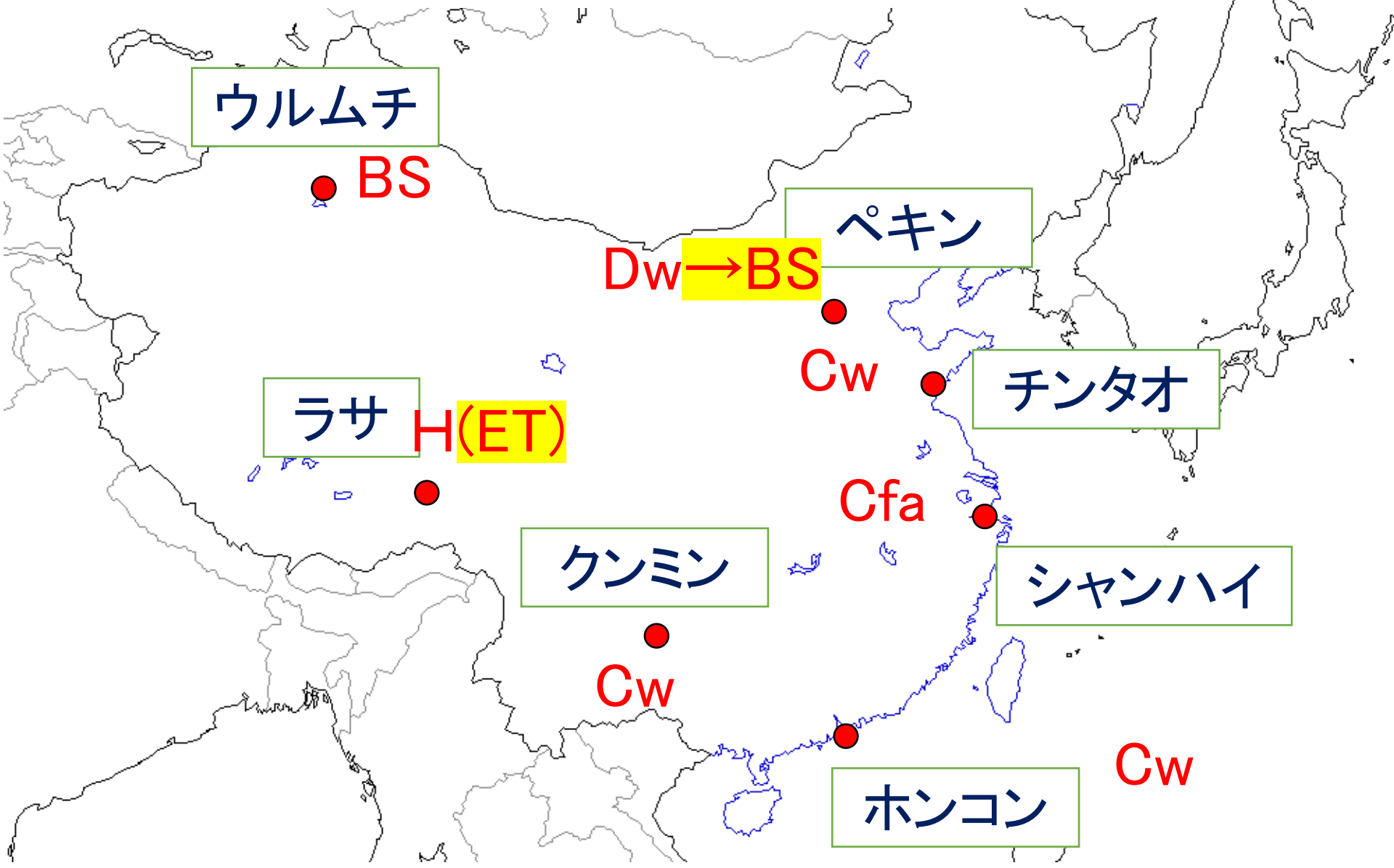
周辺にCw

チベット高原にH(ET)

長江以南沿岸にCfa

A気候
ハイナン島

(2)主要都市の気候タイプ



5 中国に暮らす人々の生活

(1)中国の人口

…約 13.8 億(2019年(含む台湾))

➡ 世界総人口(約 70 億)の1/5

(2)人口対策

…人口増加策から抑制策へ

■ 1979年～【 **一人っ子** 】政策により出生率が急減

- 出産は許可制、違反は罰金。
子供が一人の夫婦に優遇措置



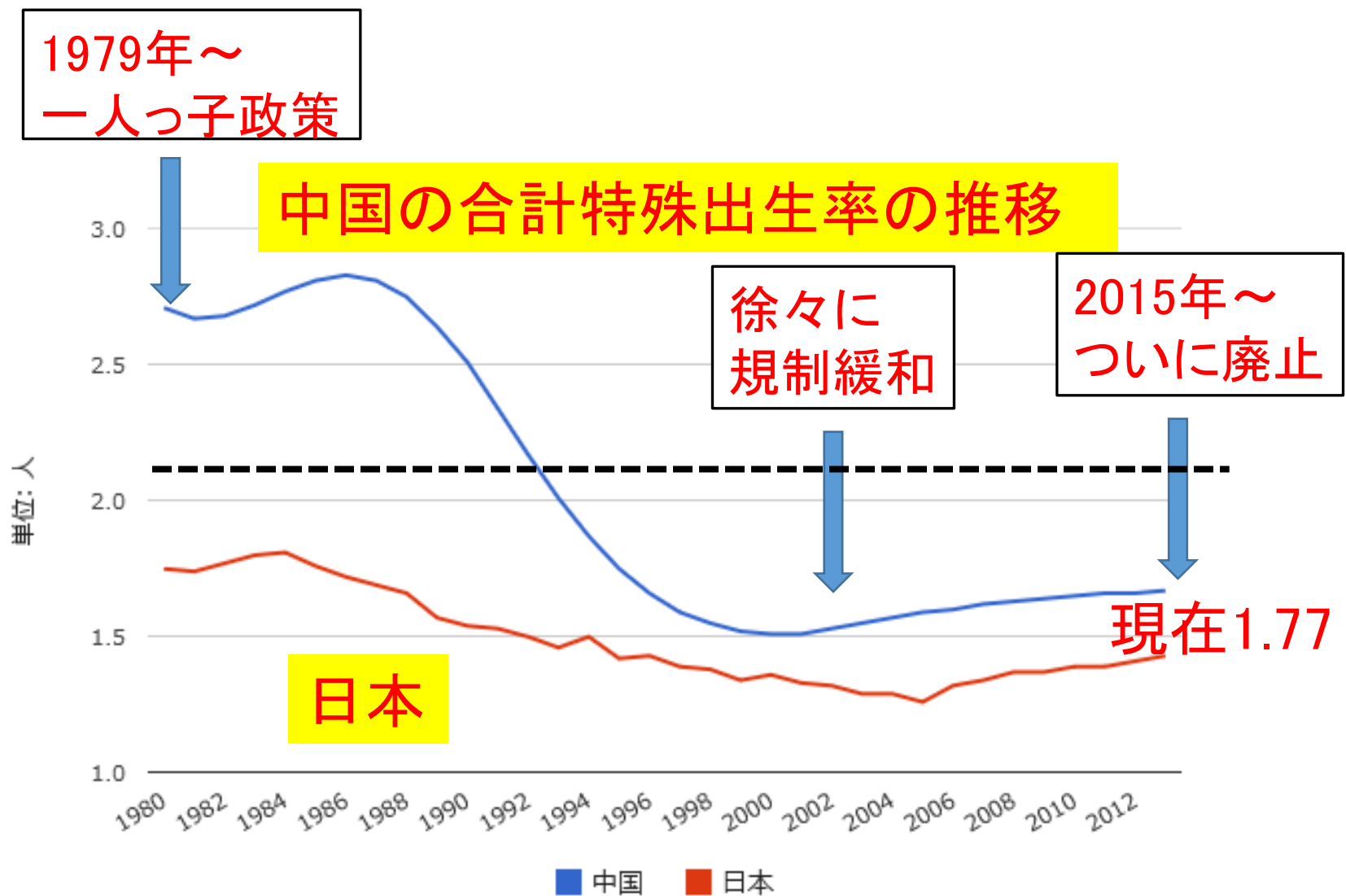
一人っ子政策推奨のためのつくられたポスターの一つ

■その後、一人っ子政策の問題が指摘されはじめる

- ・男女比のアンバランス(墮胎による【**女**】児比の減少)
- ・無戸籍児(「闇っ子」(ヘイハイズ))問題
- ・子供への過保護(「**小皇帝(シャオ・ホアンディ)**」)など
- ・急速な【**高齢化**】 → **労働力不足** や社会保障費の増加への懸念



■ 2015年に一人っ子政策が廃止され,現在は若干回復。



6 民族

(1) 民族構成

……多民族(漢民族 + 55 民族)から成る

① 漢民族(92%)

……標準語は【 **北京** 】語※、東部 の都市部に居住



②少数民族

・・・チョワン・チベット・ホイ・ウイグル・朝鮮族など55以上の民族が、内陸の 高地・辺境地 に居住



【主要な少数民族居住区には自治区（省と同格）設置】

シンチャンウイグル自治区

内モンゴル自治区

ニンシャホイ族自治区

チベット自治区

コワンシーショワン族自治区

少数民族の言語は使えるが、迫害を受けている



①内モンゴル自治区



モンゴル族(約17%)

【チベット仏】教・遊牧(馬・羊)

モンゴル語(アルタイ語族)モンゴル文字使用



ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ
ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ
ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ
ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ
ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ

②チベット自治区

チベット族(約92%) 【チベット仏】教
遊牧(ヤク・羊)・大麦栽培



③シンチャンウイグル自治区

ウイグル族(トルコ系)(約45%)

【イスラム(回)】教

ウイグル語(アルタイ語族)

アラビア文字使用

遊牧(羊・ラクダ)・オアシス農業(綿花も(国内最大産地))



中国政府は、新疆(しんきょう)の名称で呼ぶ

④ニンシヤホイ族自治区

ホイ族(約33%)【イスラム(回)】教



⑤コワンシーチョワン族自治区

棚田で稲作

チョワン族(約32%) 少数民族で最大人口。

社会・文化の両面にわたり、漢化が著しい。



→自治権拡大・独立を要求した抗議運動

・・・(【チベット】自治区・【シンチャンウイグル】自治区)



6 経済体制 ※表面的には **社会主義**

(1)1970年代後半～(**市場主義**)経済という名称で
実質は(**資本主義**)を導入した

■鄧小平政権のもとで体制が激変
(**富める者から富め**)

■1978年～
四つの近(現)代化(**工業・農業・国防・科学技術**)

➡ 経済効率が上昇



鄧小平

●国内の変化

【農業】

- ・ 集団制農業を推進してきた(**人民公社**)が解体(1982年)
→ 営利目的の農業をみとめる(**生産責任制**)の導入
※ **万元戸**の出現 (1980年～)

【企業経営】

- ・ 国有企業の民営化、個人企業・(**郷鎮企業**)の認可



● 対外政策の変化

……(**対外開放** 政策)により欧米・日本の海外
資本・技術を積極導入。

(2) その後1980年代以降、沿海部に(**経済特区**)を設
置し、海外の技術・資本の積極的な受け入れを進める。

→ 輸出加工型 工業を中心に発展

※現在、21世紀の「**世界の工場**」

GDP世界 2 位の経済大国へ

(3) 1997年にイギリスから返還されたホンコンは、資本主義と
社会主義をつなぐ役割を期待され、むこう50年間の
(**資本主義**)体制の堅持が決められた

※**一国二制度**へ

【 経済特区 】

※キーワードはお母さん「明日はシチューかい」



7 農業

(1) 近年の動向

化学肥料 の大量投入により 生産性 は増加し、
世界最大の食料生産国へ

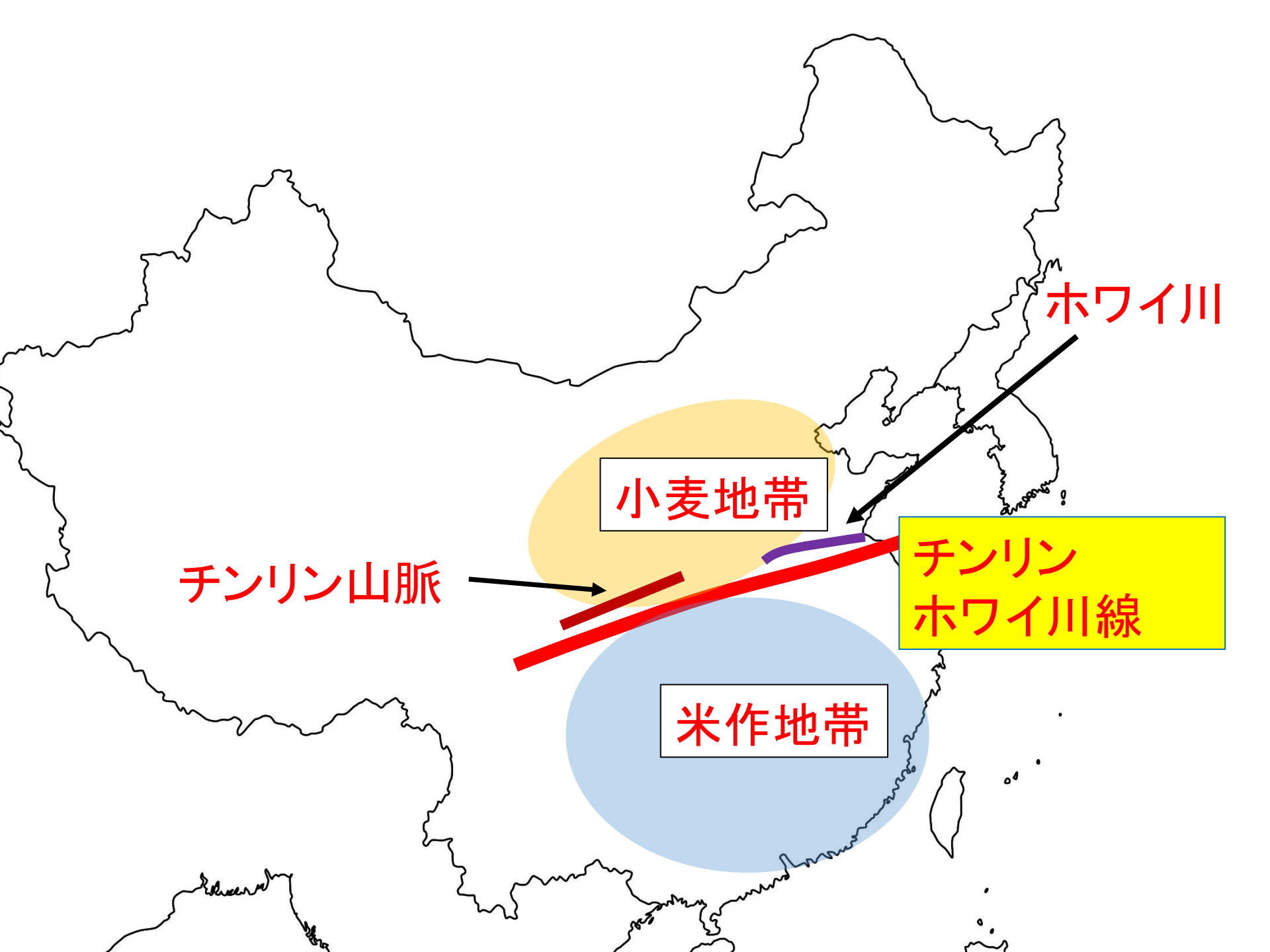
(2) 大まかな農業地域区分

① 中国東部

■ 北部(東北・華北)…(750 mm)未満で(小麦 地帯)

チンリン 山脈と ホワイ 川を結ぶ チンリン=ホワイ川線
が南北の境界線 ※年降水量約750mmの線

■ 南部(華中・華南)…年降水量(750 mm)以上の降水量で
(稲作 地帯)



ホワイ川

小麦地帯

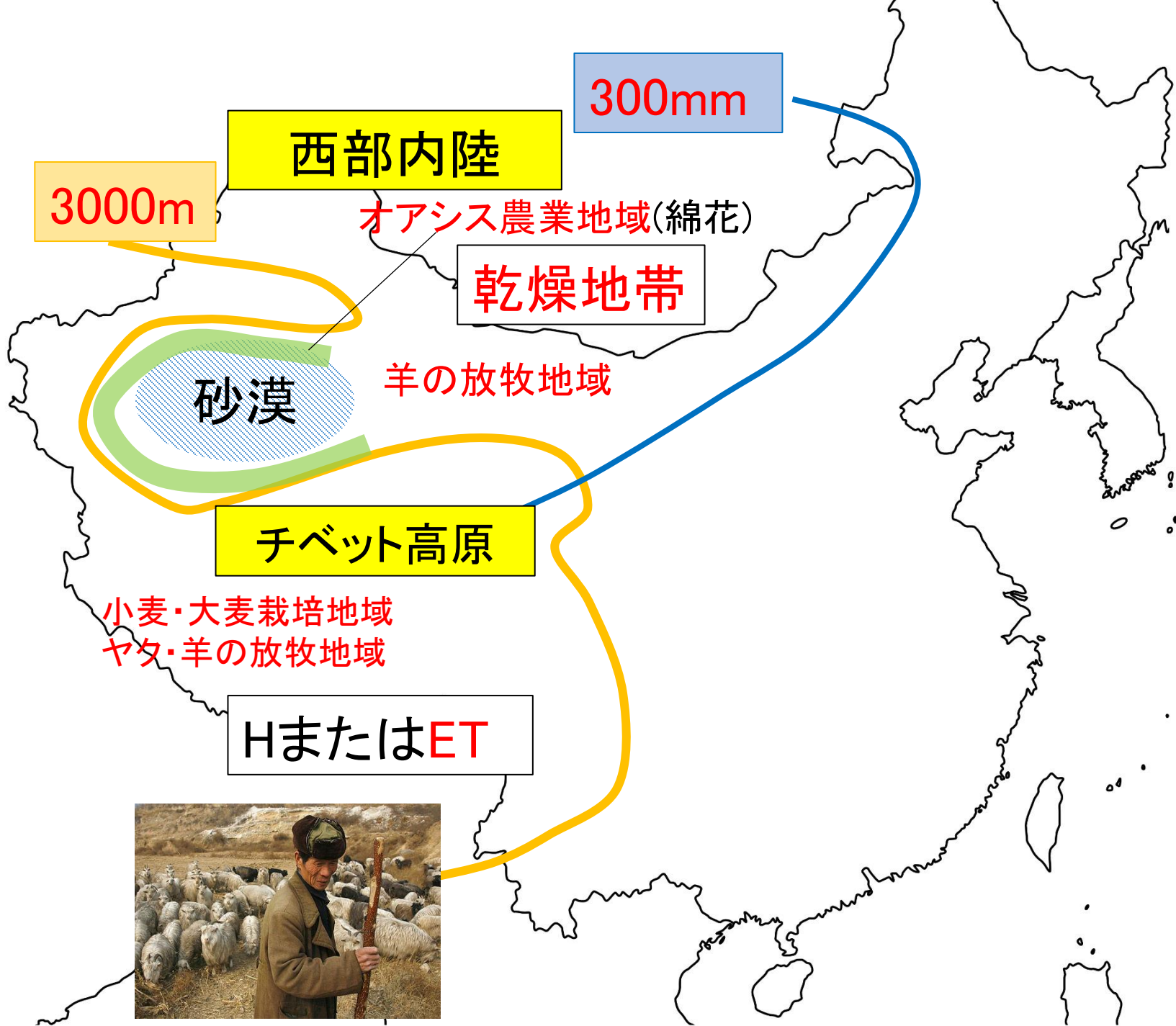
チンリン山脈

チンリン
ホワイ川線

米作地帯

②中国西部

- 西部内陸…(乾燥地帯)になっていて(オアシス農業地域)
・(羊の遊牧地域)
- チベット高原…Hまたは(ET)になっていて、小麦・(大麦)
麦栽培地域・(ヤク・羊)の遊牧地域



(4) 食文化の多様性

① 中国の食生活

・・・熱い料理が好まれるが、**地域の農業の特徴を反映**

■ 北部

・・・小麦粉を使用した饅頭(マントウ)、麺類、餃子(チャオツー)



■南部

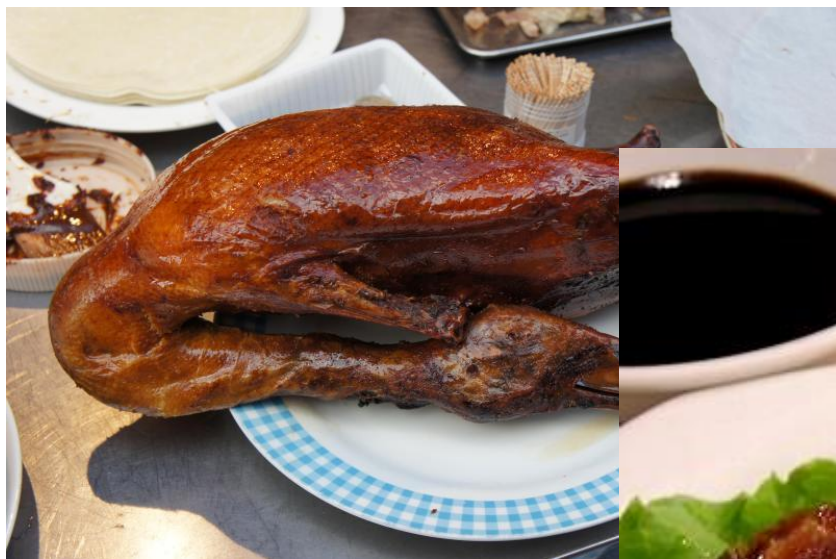
- … 米 が主食（ビーフンなどの米粉を使用した料理も）



②4つの中華料理

■【北京】料理

羊肉など



■【上海】料理

魚介類



■【広東】料理

新鮮な野菜や海産物



■【四川】料理

辛味や薬味



③都市部の食生活

・・・家族そろっての食事がかつての漢民族の習慣であった

■朝食…自宅にとらず、**屋台** で簡単にすませる人が多い

■昼食…勤務先の **食堂** でのとる



(4)農業の課題

①耕地面積が、都市化・砂漠化により(減少)傾向。

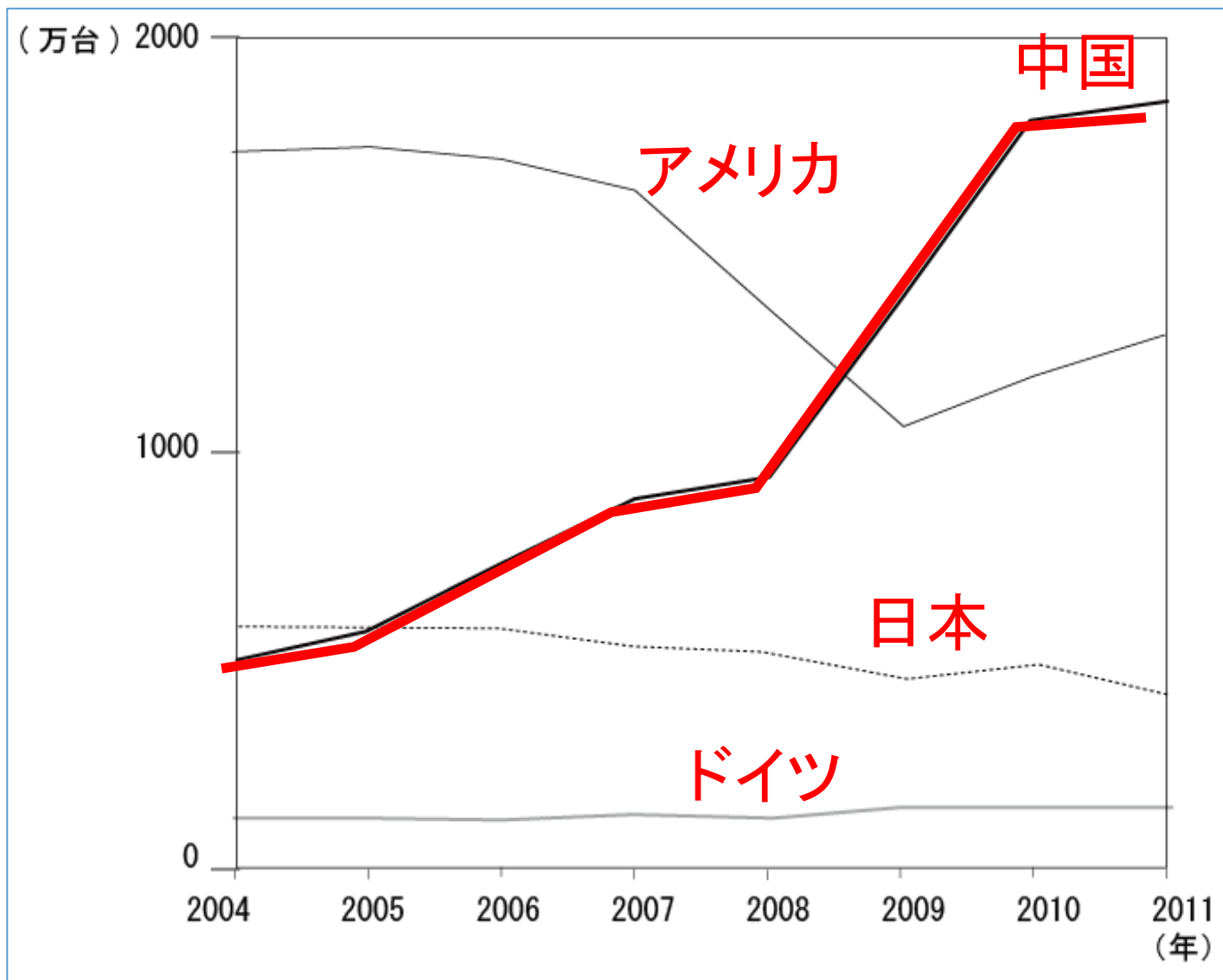
②人口増大を背景にした食料生産の(不足)

- ・とくに主食の一つである(小麦)と、
家畜の餌である(大豆・とうもろこし)を大量に輸入

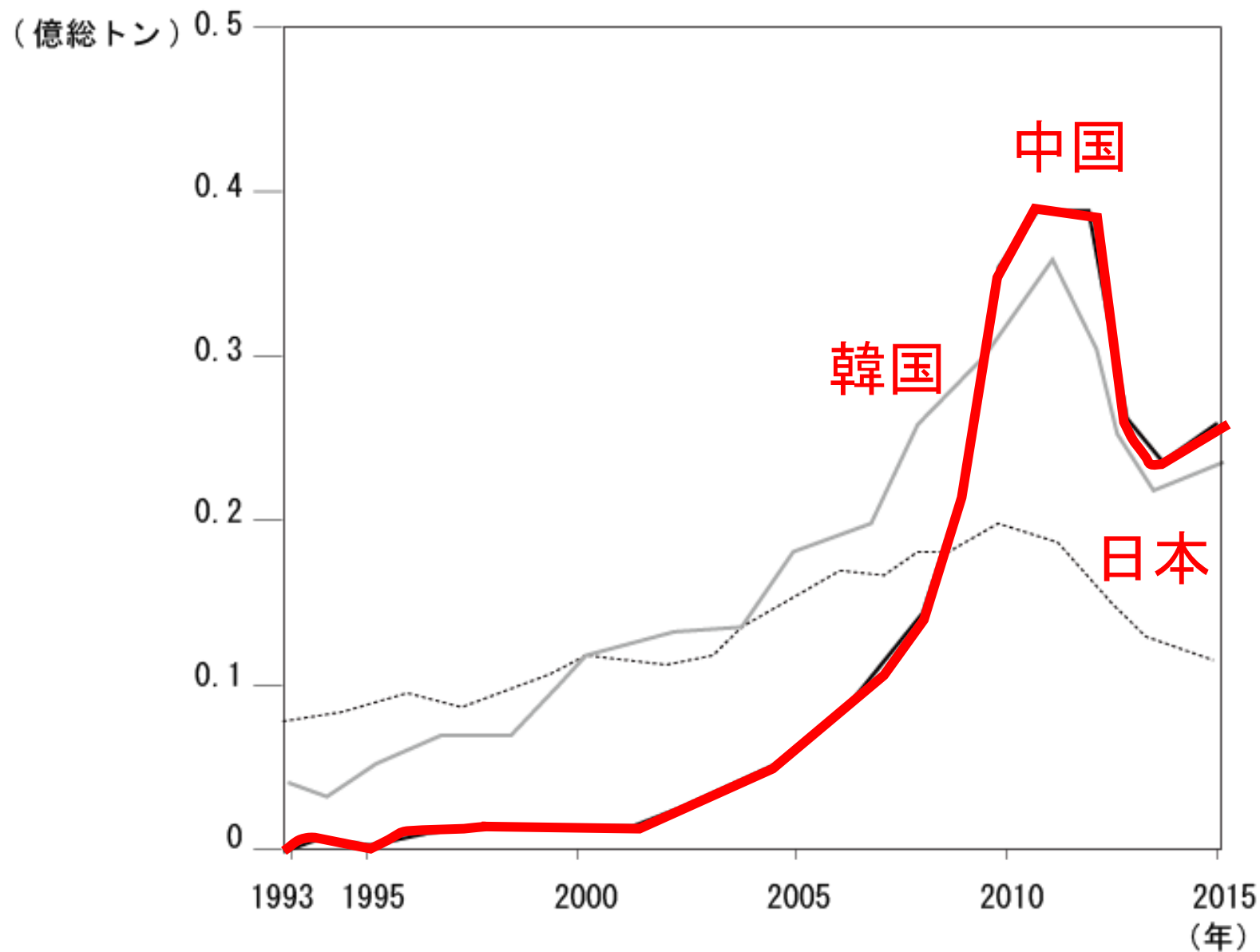
9 中国の工業

(1) 基礎的な3つの工業で世界一

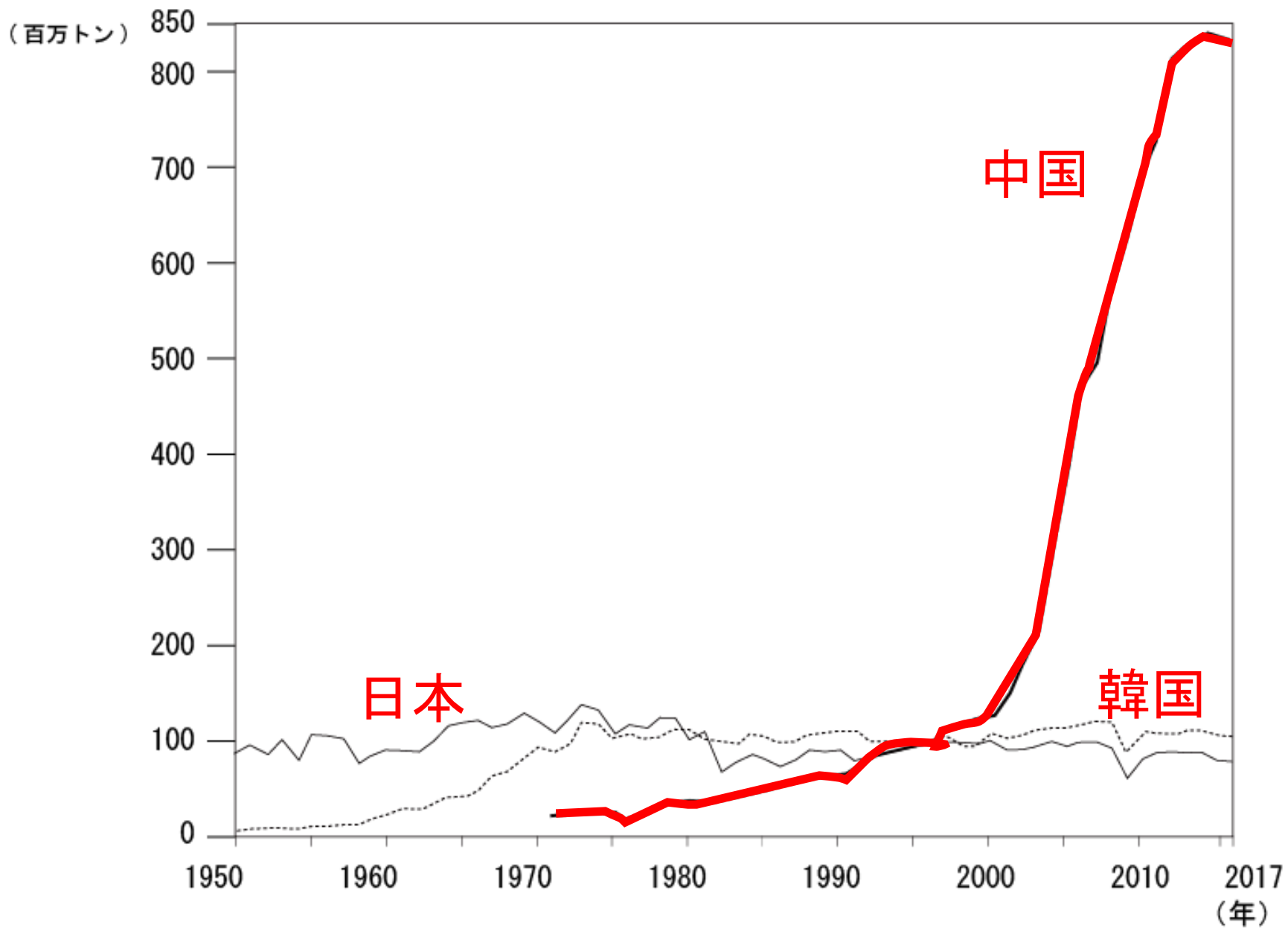
① 自動車



②造船業



③鉄鋼業



(2) 課題

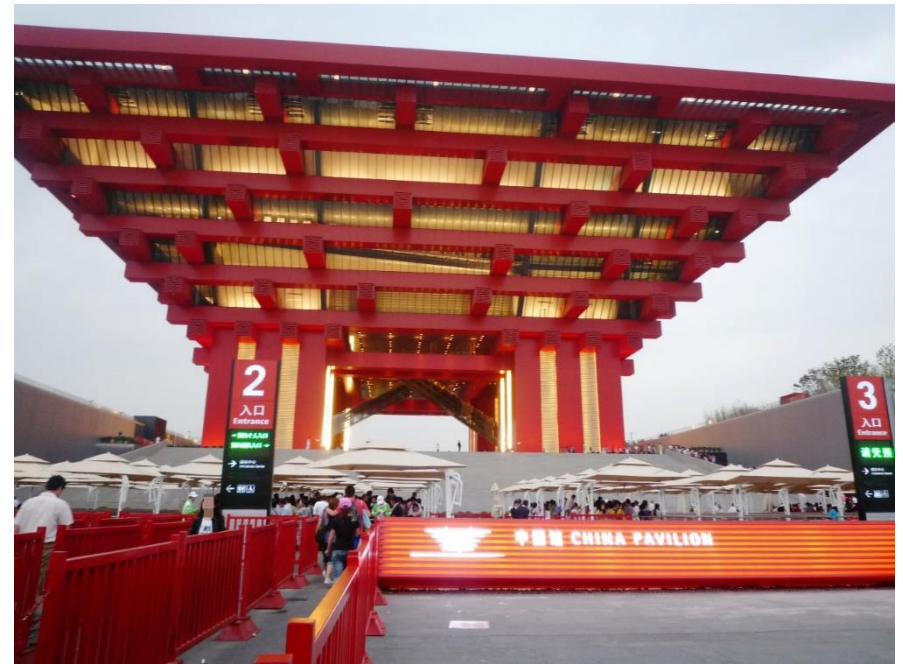
①国内資源の(不足)・・・とくに(石油)

②化石エネルギーの大量使用によって、
深刻な(大気汚染)

9 社会生活の変化

(1) 都市生活の変化

- ・・・特に2008年(**北京**)オリンピック、2010年(**上海**)万博が契機



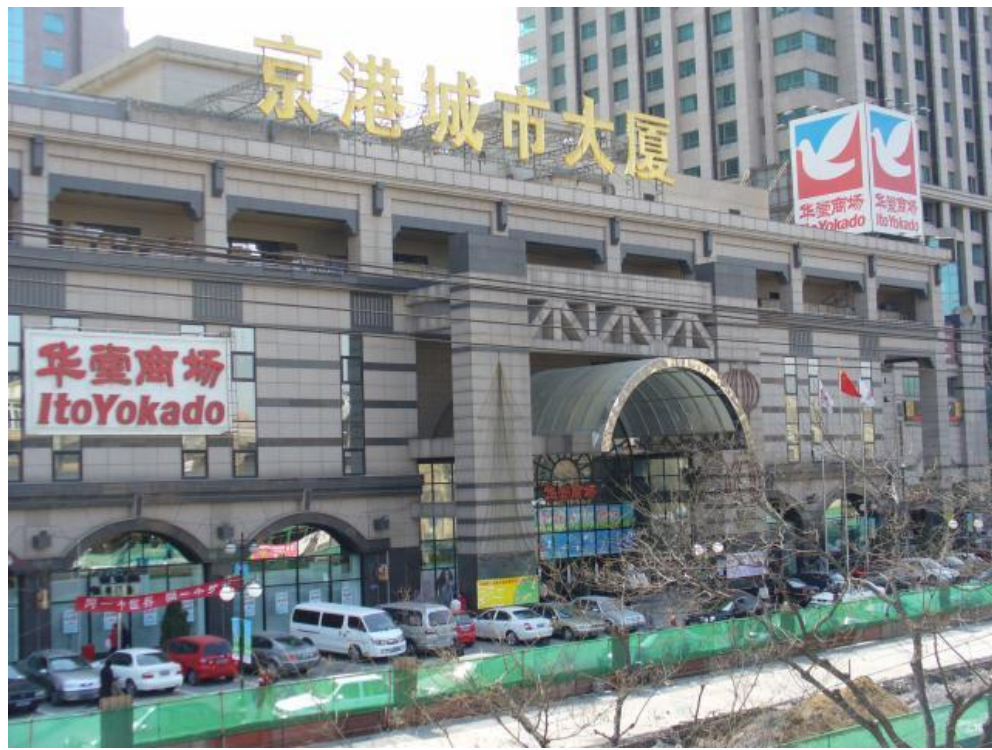
① 1970年代末～利益追求のための積極的な経済活動
が増えたり、欧米文化が激しく流入

■ 個人経営店舗・ **高級ホテル** の増加



■百貨店の豪華な飾り付け、欧米日の **チェーン店**
(コンビニ・ファストフード店など)の出店





■豊かな色彩の女性の(**服装**)が目立つようになる



②交通手段の変化

■(**自動車**)が普及・・・利用者数で世界 1 位へ

1980年代



現在



■ 高速道路や(**高速鉄道**)が急速に整備

- ・・・総延長距離は日本をすでに上回っている。



(2) 生活水準の上昇……(**耐久消費財**)の普及

■ 旧 4 件 (自動車、腕時計、ミシン、ラジオ)

■ 新 6 件

(テレビ、洗濯機、VTR、冷蔵庫、扇風機、カメラ)

※VTR…ビデオレコーダー

10 変化に伴う課題・近年の動き

(1) 様々な格差の出現

① 漢民族の暮らす(**東部臨海** 地域)と、
少数民族の多い(**西部** 地域)の経済格差が拡大

② (**都市**)と(**農村**)の間の経済較差が拡大

→ 地域間格差是正のための(**西部大開発**)
(2000年から)などが実施

(2) 自由化されない政治を問題視する国際世論の高まり

- ①(**共産党**)の一党独裁体制下の情報・(**マスメディア**)の政府統制への批判
- ②(**少数民族**)への迫害・弾圧への批判

12 日本との交流

(1) 緊密な日中の経済関係(1980年代以降)

➡ 日本にとって第(1)位の輸出入国へ
(それまでは、長年【アメリカ】が1位の輸出入国)

(2) 人の交流…日中航空路の増設

➡ かつてはペキン・シヤンハイ・ホンコン間程度
現在は日本各地から中国各地へ
(直行便)が就航